

美祢市立図書館基本構想  
＜資料編＞

2021年11月

美祢市教育委員会

## 美祢市立図書館基本構想 <資料編> 目次

### 美祢市立図書館基本構想の策定プロセス

#### 美祢市立あり方検討委員会 配布資料 議事録

第 1 回美祢市立図書館あり方検討委員会	2020. 10. 21
プログラム	.....01
資料-1 美祢市立図書館 業務の進め方	.....02
第 2 回美祢市立図書館あり方検討委員会	2020. 12. 03
プログラム	.....03
資料-1 第 1 回美祢市立図書館あり方検討委員会 記録	.....04
資料-2 第 1 回美祢市立図書館あり方検討委員会 まとめ	.....09
資料-3 第二次美祢市総合計画策定時に実施された アンケート調査の回答を SWOT 分析した資料	.....12
第 3 回美祢市立図書館あり方検討委員会	2021. 02. 09
プログラム	.....13
資料-1 第 2 回美祢市立図書館あり方検討委員会 記録	.....14
資料-2 第 2 回美祢市立図書館あり方検討委員会 まとめ	.....20
第 4 回美祢市立図書館あり方検討委員会	2021. 08. 06
プログラム	.....23
第3回美祢市立図書館あり方検討委員会 記録	.....24
資料-1 美祢市立図書館基本構想 全体構成（案）	.....35
資料-2 新しい美祢市立図書館が目指す姿	.....36
資料-3 新しい美祢市立図書館の構成図	.....37
資料-4 新しい美祢市立図書館の構成について	.....38
資料-5 2つのサテライト図書館の施設規模や運営体制について	.....38
資料-6 美東・秋芳サテライト図書館について	.....39
第4回美祢市立図書館あり方検討委員会 記録	.....42

**第5回美祢市立図書館あり方検討委員会（車座集会）** 2021.10.16

車座集会配布チラシ	.....49
美祢市立図書館基本構想 概要	.....50

**第6回美祢市立図書館あり方検討委員会（拡大委員会ワークショップ）** 2021.11.18

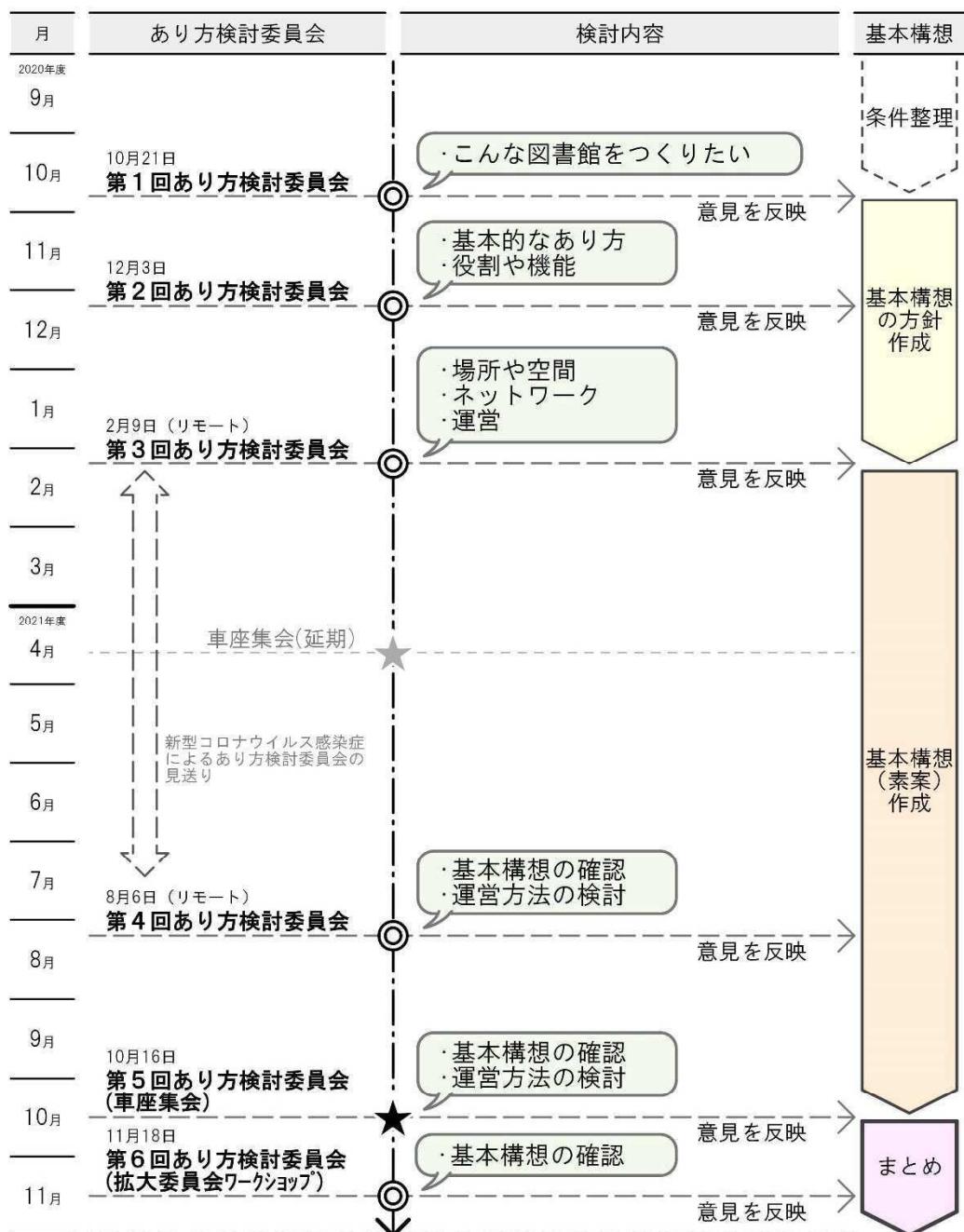
プログラム	.....52
資料-1 車座集会で出された意見のまとめ	.....53
第6回美祢市立図書館あり方検討委員会 記録	.....59

**美祢市立図書館あり方検討委員会 感想カード記録**

第1回美祢市立図書館あり方検討委員会	.....K01
第2回美祢市立図書館あり方検討委員会	.....K03
第3回美祢市立図書館あり方検討委員会	.....K05
第4回美祢市立図書館あり方検討委員会	.....K07
第5回美祢市立図書館あり方検討委員会（車座集会）	.....K09
第6回美祢市立図書館あり方検討委員会（拡大委員会ワークショップ）	.....K12

## 美祢市立図書館基本構想の策定プロセス

美祢市立図書館あり方検討委員会では、広い視点から様々な意見を出し合い、美祢市に求められる図書館の姿を描きだすため、ワークショップ形式の協議の場としました。計6回のあり方検討委員会が行われ、第5回あり方検討委員会は、広く市民に開かれた自由に意見を出し合う車座集会として開催されました。あり方検討委員会と基本構想の策定プロセスを以下に示します。



美祢市立図書館あり方検討委員会

配布資料

議事録

# 第1回 美祢市立図書館あい方検討委員会

## ワークショップ

日時：令和2年10月21日(水) 9:30～

場所：美祢市勤労青少年ホーム

### STEP4：出された意見を分類・整理してみましょう

- ・グループの中で出された意見をみんなで確認しながら、同じような内容をまとめ、模造紙の上で分類 整理してください

### STEP5：各グループの意見を、全体に発表しましょう

- ・各グループで出された意見を全体に紹介してください
- ・各グループの意見を基に、全体で議論します

### STEP1：基本構想策定の進め方にについて

- ・受託業者自己紹介
- ・基本構想策定の進め方、及び、あり方検討委員会の進め方について説明します（資料ー1）
- ・ワークショップにおいて求める成果の概略について確認します

### STEP2：図書館への思いとともに自己紹介

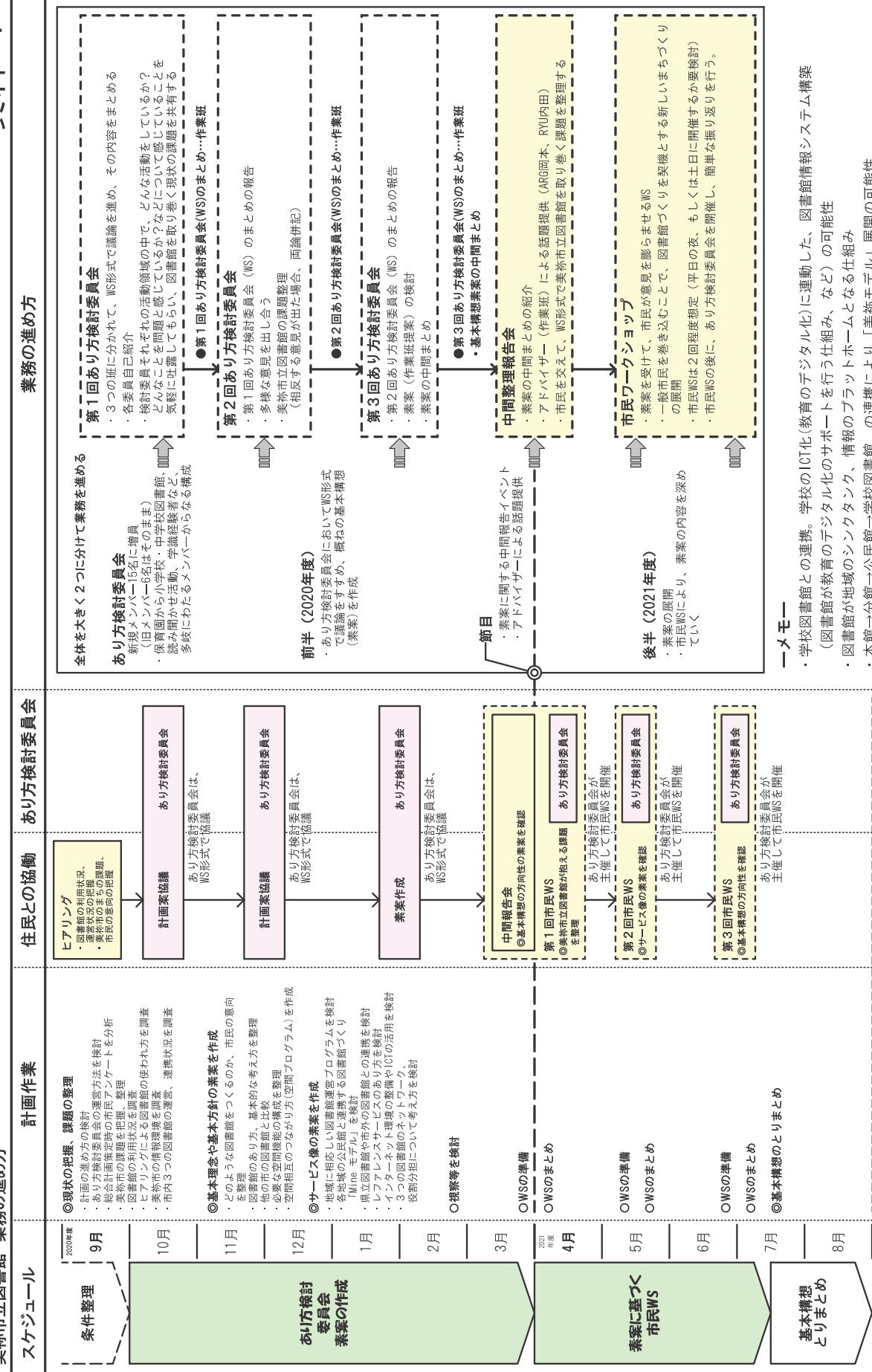
- 3つのグループに分かれいただき、委員の皆さんのがこれまで図書館とどのような関わりを持つてこられたか？ これから図書館に対してどのような夢をお持ちか？などについて自己紹介カードに書いて、ポストイットに書いて、グループで情報交換してください
- 報告しあってください

### STEP3：こんな図書館をつくりたい

- 委員の皆さんのがこれまでの活動や経験の中で、図書館に対して感じていること、期待していること、やってみたいことなどについて、自由にポストイットに書いて、グループで情報交換してください
- 例えば、
- ・こんな図書館をつくりたい！
  - ・図書館の中にこんな場所があつたらいいな！
  - ・図書館でこんなことをしてみたい！

など、図書館に対する思いを自由に出し合ってください

資料 - 1



## 第2回 美祢市立図書館あい方検討委員会

### ワークショップ

日時：令和2年12月3日(木)9:30～

場所：美祢市立図書館 2階 視聴覚室

#### - フログラム -

##### STEP 1：第1回あい方検討委員会（WS）を振り返ります

- ・第1回 WSで議論した内容を振り返ります
- ・第1回 WSのべたうち記録（資料-1）

##### STEP 2：第1回あい方検討委員会（WS）で出された意見を整理したものを説明します

- ・3つのグループで出された意見を、作業班で以下の5つの項目に分類しました
- その内容について説明します（資料-2）
  1. 基本的なあり方（理念）に関わること
  2. 役割や機能に関わること
  3. 場所や空間に関わること
  4. つながり・ネットワークに関わること
  5. 運営に関わること

○2回目、3回目のワークショップで、それぞれの項目ごとに掘り下げて議論します。1. 2. を第2回、3. 4. 5. を第3回に分けて議論します

##### STEP 3：各項目ごとに掘り下げた議論に入る前に、美祢市の現在の状況について共通の認識を持つていただくために、概略の情報をお伝えします

- ・資料：第二次美祢市総合計画策定時に実施されたアンケート調査の回答をSWOT分析した資料（資料-3）
- ・美祢市の中心市街地などまちづくり計画の動きなどについて
- ・美祢市の財政状況などについて

##### STEP 4：1. 基本的なあり方（理念）に関わること、について議論を掘り下げ、

##### 新しい図書館を表現するキヤッチフレーズを考えましょう

- ・第1回 WSで出された意見と STEP3 の資料などを参考に、新しい美祢市立図書館の基本的なあり方（理念）について、各グループで意見を出し合ってください
- ・グループごとに議論の内容を整理し、新しい図書館を的確に表現する

「キヤッチフレーズ」を考えてください

##### STEP 5：2. 役割や機能に関わること、について、グループごとに議論を掘り下げる

- ・第1回 WSで出された意見などを参考にして、グループの中で意見を出し合ってください
- ・出された意見をみんなで確認しながら、分類・整理してください

##### STEP 6：各グループの議論の内容について、全体に発表しましょう

- ・各グループで出された意見を全体に紹介してください
- ・各グループの発表をもとに、全体で議論します

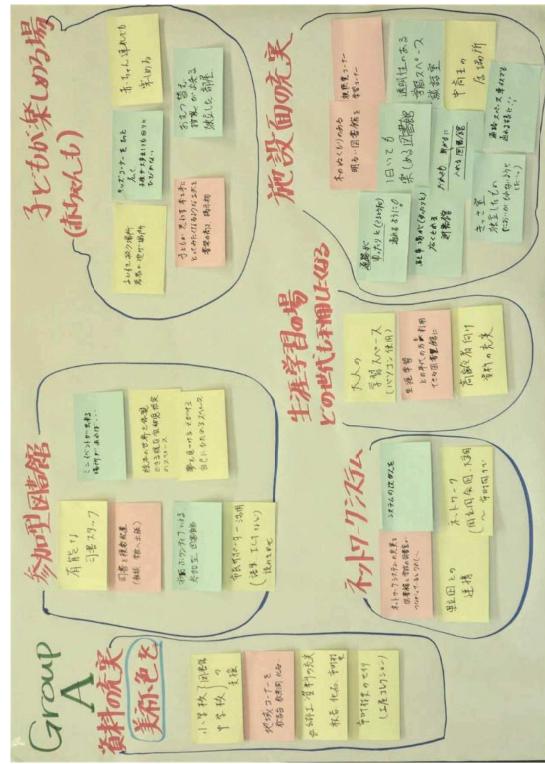
##### STEP 7：今日のまとめ

- ・今日のワークショップや今後の進め方など、感想カードを書いてください

## 第1回あい方検討委員会(WS)まとめ

## 資料-1

美祢市立図書館基本構想策定業務 令和2年度第1回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2020年10月21日(日) 9:30~11:30
場 所	美祢市勤労青年少年ホーム 委員：波佐間正順（吉則保育園園長） 吉田真由美（秋吉小学校校長） 田村恵美子（県立図書館） 柴崎 良子（大嶺中学校地域コーディネーター） 野原 妙子（利用者美祢地区代表）
参加者 (敬称略)	行政：篠田 美子（美祢市立図書館司書） 計画：内田 文雄（龍環境計画）



- 資料の充実・美祢色を
  - ・小学校、中学校図書館の支援
  - ・地域コーナーを（秋吉台、秋芳洞、化石、）
  - ・郷土資料の充実（秋吉、化石、市町村史）
  - ・市町村史の整理（土屋コレクション）
- 参加型図書館
  - ・有能な司書スタッフ
  - ・司書を複数配置（相談、学校へ出張）
  - ・市民ボランティアによる参加型図書館
  - ・市民サポート活用（語学、読み聞かせ、ICTなど）
  - ・ミニイベントができる場所があれば
  - ・絵本の世界を体現できるような乳幼児限定のスペース
  - ・夢を見つける、えがける、自己にひたれるスペース
- 子ども（赤ちゃんも）が楽しめる場
  - ・子どもを救う場所 若者の迷路場所
  - ・キッズコーナーをもっと広く 子どもが大声を出しても周りに響かない
  - ・赤ちゃん連れでも楽しめる
  - ・子どもが思わず本を手に取ってみたくなるような工夫を
  - ・書架の高さ、掲示物
  - ・才ムツ替え、授乳ができる独立した部屋
- 生涯学習の場 どの世代も利用したくなる
  - ・大人の学習スペース（パソコン教室）
  - ・大人の学習スペース（パソコン教室）
  - ・生涯学習スペース
  - ・高齢者向け資料の充実

## ○施設面の充実

- ・木のぬくもりのある明るい図書館
- ・1日いても楽しめる図書館
- ・視聴覚コーナー 学習コーナー
- ・通路がゆったりと(てきとうに)通れるように
- ・透明性のある学習スペース、談話室
- ・誰でも気軽に入れる図書館
- ・中高生の居場所
- ・喫茶室：独立したもの(においがもれないようにしたい)
- ・通路スペース：車椅子でも通れるように

## ○ネットワークシステム

- ・ネットワークシステムの充実を：図書館と学校の図書館がつながっているところ
- ・システムの改善を
- ・県立図書館との連携
- ・ネットワーク(国立国会図書館～大学図書館～市町図書館まで)

## 美祢市立図書館基本構想策定業務

### 令和2年度第1回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録

日 時 2020年10月21日(日) 9:30～11:30

場 所 美祢市勤労青少年ホーム

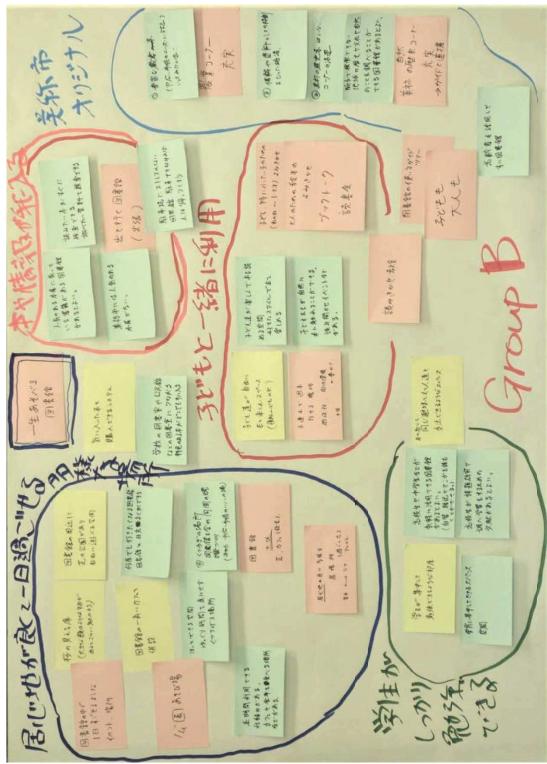
委員：利重 佳子(真長田保育園園長)  
金石 芳朗(県立美祢青嶺高等学校校長)

豊田 康恵(利用者秋芳地区代表)  
牛島 朗(山口大学大学院創成科学研究科)

参加者  
(敬称略)

行政：斎藤 正憲(教育委員会課長)

計画：平岡 良太(龍環境計画)



## ○一生あそべる図書館

### ○居心地がよくて一日過ごせる多様な場所

- ・図書館の中で一日過ごせるようなイベント、場所
- ・桜の見える席（大きな額のようなものがあるとさらに魅力的）
- ・図書館の周辺に芝の公園があり、自由に遊べる空間
- ・公園、遊び場
- ・図書館の一角にカフェを併設
- ・何度も行きたくなる図書館
- ・図書館と日光浴ができる場所
- ・ほっとできる空間。ゆっくり時間を気にせず、くつろげる場所
- ・くつろぎの場所。図書館を含め、周囲の環境づくり（子供、幅広い市民の憩いの場）

### ○長時間利用できる仕組みがある。カフェや食事ができる場所などがある

- ・図書館+α。芝、カフェ（飲食）
- ・居心地の良い多様な居場所（過ごし方）。集中⇒ラフの切り替えができる

### ○本や情報が手に入る環境づくり

- ・美祢市には人気のある本屋がない
- ・人気のある本屋に売っている書籍がある図書館があるとよい、
- ・読みたい本がすぐに検索できる。
- ・調べたい資料を検索できる
- ・気に入った本を購入できるシステム

- ・学校の図書室や公民館などの図書室につながる
- ・特色のある本がどこでも手に入る
- ・出でいく図書館（出張図書館）

### ○子どもと一緒に本を楽しめる

- ・子ども達が自由に本を楽しむスペース（寝転んでもOK）
- ・子連れで週末行ける場所。開放性、周辺環境の豊かさ。 $\alpha$
- ・子ども達が楽しく本を読める空間。好きなスタイルで本を楽しめる
- ・子ども、特に小さい子（ねんね～1・2歳）のための読み聞かせ

## ・大人のための絵本の読み聞かせ

- ・ブックトーク、読書会
- ・読み聞かせ教室
- ・図書館の使い方ガイドツリー。子どもも大人も

### ○学生がしっかりと勉強できる

- ・学生が集中して勉強できるような部屋
- ・集中して学習できるスペース、空間
- ・高校生や中学生などが気軽に活用できる図書館があるとよい（自習、雑誌やマガジンを読むことができる）
- ・高校生が課題研究や調べ学習をするための文献があるとよい（の場）

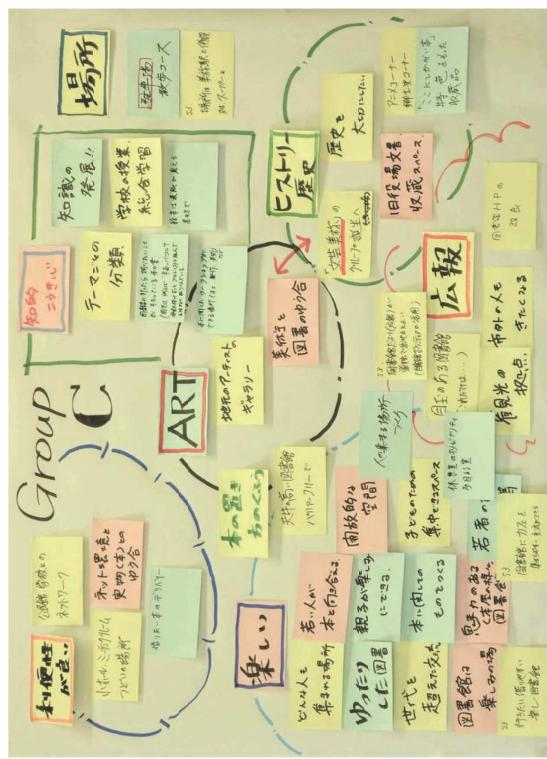
### ○美祢市オリジナル

- ・豊富な蔵書（幅広い市民のニーズに対応）
- ・農業コーナーの充実
- ・情報や資料としての役割をもつた施設
- ・美術の歴史等、ほかにないコーナーの設置
- ・Webで検索できない地域の歴史や文化や自然のことを調べることができます
- ・美術の自然、歴史コーナーの充実→ガイドと連携

### ○その他

- ・本を通じて、同じ趣味をもつ人たちと交流できるようなスペース
- ・高齢者も活用しやすい図書館
- ・駐車場にストレスのない図書館。駐車できなければ人は帰ってしまう

美祢市立図書館基本構想策定業務 令和2年度第1回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2020年10月21日(日) 9:30~11:30
場 所	美祢市勤労青少年ホーム
参加者 (敬称略)	委員：作本 照子（認定こども園代表、伊佐中央幼稚園園長） 中村 三雄（於福中学校教頭） 山根 文江（読み聞かせの会代表） 中原 和昭（社会教育委員） 行政：高田 徹明（美祢市立図書館館長） 計画：椿 拓也（龍環境計画）



#### ○利便性

- ・公民館、学校とのネットワーク
- ・借りたい本をデリバリーしてくれる
- ・小ホールやミーティングスペースなどの集いの場所がある
- ・ネット環境と実物の本がうまく融合した図書館
- ・本の置き方を工夫した

#### ○知的好奇心

- ・知識が発展するような場所
- ・テーマごとに本が分類されている
- ・学校の総合学習などの授業で利用できる
- ・調べたいことがそろっている蔵書数が欲しい
- ・絵本は表紙が見える置き方が良い

#### ○アート

- ・地元のアーティストの発表の場所
- ・美術と図書の融合
- ・本に關したワークショップ（木工、作製、美術）などができる
- ・「文芸美術」のグループ誕生

#### ○歴史

- ・歴史を大切にした
- ・アニメコーナーや郷土史コーナー
- ・「ここにしかない本」特色をもつた収蔵品
- ・旧役場文書の収蔵スペース

### ○広報

- ・図書館ホームページの改良
- ・市外の人も来たくなるような図書館
- ・目玉のある図書館
- ・観光の拠点
- ・図書館だより（広報）が単独で発行できるとよい、（図書館がランティア）
- ・人の集まる場所づくり

### ○楽しい

- ・図書館は楽しみの場所
  - ・どんな人も集まれる場所
  - ・若い人が本と向き合える
  - ・ゆったりとした図書館
  - ・親子が楽しむことができる
  - ・世代を超えた交流ができる
  - ・本に関してのものをつくることができる
  - ・行きたい、借りやすい図書館
  - ・魅力のある（本屋のような）図書館
  - ・天井の高い図書館
  - ・パリアフリー
  - ・開放的な空間
- ・子どもたちの集中できるスペースがある
- ・休憩室、多目的室などオリナリティがある
- ・図書館に集まりやすい、交流できるカフェが欲しい

### ○場所

- ・駐車場が広い、
- ・散歩コースがある
- ・美術館やスーパーと併設できないか、

## 資料I-2

第1回あいり方検討委員会(WS)で出された意見を以下の5つの項目に分類しました

### 1. 基本的なあり方(理念)に関すること

- ・どんな人も集まれる場所
- ・世代を超えた交流ができる
- ・生涯学習 どの世代も利用できる図書館
- ・何度も行きたいなる図書館
- ・誰でも気軽に入れる図書館
- ・夢を見つける、えがける、自己にひたれるスペース
- ・一生あそべる図書館
- ・ほつとできる空間。ゆっくり時間を気にせず、くつろげる場所
- ・長時間利用できる仕組みがある。カフェや食事ができる場所などがある
- ・居心地の良い多様な居場所(過ごし方)。集中ラフの切り替えができる
- ・図書館は楽しみの場所
- ・子ども達が自由に本を楽しむスペース(寝転んでもOK)
- ・子どもを救う場所 若者の迷い場所
- ・市民ボランティアによる参加型図書館

### 2. 従事や機能に関すること

- ・読みたい本がすぐに検索できる。
- ・調べたい資料を検索できる
- ・気に入った本を購入できるシステム
- ・特色のある本がどこでも手に入る
- ・出でいく図書館(出張図書館)
- ・郷土資料の充実(秋吉、化石、市町村史)
- ・市町村史の整理(土屋コレクション)
- ・歴史を大切にしたい
- ・美術の歴史等、ほかにないコーナーの設置
- ・美術の自然、歴史コーナーの充実→ガイドと連携
- ・Webで検索できない地域の歴史や文化や自然のことを調べることができる図書館があるといい
- ・目玉のある図書館
- ・観光の拠点
- ・農業コーナーの充実
- ・情報や資料としての役割をもった施設
- ・高校生や中学生などが気軽に利用できる図書館があるといい(自習、雑誌やマンガを読むことができる)
- ・高校生が課題研究や調べ学習をするための文献があるといい
- ・子連れで週末行ける場所。開放性、周辺環境の豊かさ。 $+ \alpha$
- ・子ども達が楽しんで本を読める空間。好きなスタイルで本を楽しめる
- ・子ども、特に小さい子(ねんね～1・2歳)のための読み聞かせ
- ・大人のための絵本の読み聞かせ
- ・ブックトーク、読書会
- ・読み聞かせ教室
- ・図書館の使い方ガイドナー。子どもも大人も

### 3. 場所や空間に関わること

- ・「ここにしかない本」特色をもった収蔵品
- ・旧図書文書の収蔵スペース
- ・1日いても楽しめる図書館
- ・視聴覚コーナー 学習コーナー
- ・透明性のある学習スペース、談話室
- ・喫茶室：独立したもの（においがもれないようにしたい）
- ・図書館の一角にカフェを併設
- ・図書館と日光浴ができる場所
- ・ほつとできる空間。ゆっくり時間を気にせず、くつろげる場所
- ・くつろぎの場所。図書館を含め、周囲の環境づくり（子供、幅広い市民の憩いの場）
- ・長時間利用できる仕組みがある。カフェや食事ができる場所などがある
- ・図書館+α。芝、カフェ（飲食）
- ・居心地の良い多様な居場所（過ごし方）。集中⇨ラフの切り替えができる
- ・学生が集中して勉強できるような部屋
- ・集中して学習できるスペース、空間
- ・高校生や中学生などが気軽に活用できる図書館があるとよい（自習、雑誌やマンガを読むことができる）
- ・子ども達が自由に本を楽しむスペース（寝転んでもOK）
- ・中高生の居場所
- ・本を通じて、同じ趣味をもつ人たちと交流できるようなスペース
- ・小ホールやミーティングスペースなどの集いの場所がある
- ・美術と図書の融合
- ・地元のアーティストの発表の場所
- ・本に関したワークショップ（木工、作製、美術）などができる
- ・「文芸美術」のグループ誕生
- ・アニメコーナーや郷土史コーナー

#### **4. つながり・ネットワークに関するここと**

---

- ・ネットワークシステムの充実を：図書館と学校の図書館がつながっているところ  
うれしい
- ・学校の図書室や公民館などの図書室につながる
- ・公民館、学校とのネットワーク
- ・システムの改善を
- ・県立図書館との連携
- ・ネットワーク（国立国会図書館～大学図書館、市町図書館まで）
- ・図書館ホームページの改良
- ・図書館だより（広報）が単独で発行できるところよい（図書館ボランティア）

#### **5. 運営に関わること**

---

- ・市民ボランティアによる参加型図書館
- ・市民サポート一括用（語学、読み聞かせ、ICTなど）
- ・司書を複数名配置（相談、学校へ出張）
- ・借りたい本をデリバリーしてくれる

## 第二次美祢市総合計画策定時に実施された アンケート調査の回答をSWOT分析した資料

## 資料4-3

### 6.まとめ

#### (1) SWOT分析からみえるキーワード

【脅威】	【強み】	【機会】	【弱み】
<ul style="list-style-type: none"><li>● 人口減少、少子高齢化の進行</li><li>● 出生数、出生率が低く、若年層の転出が多い</li><li>● 通型的観光地</li><li>● 体验型観光や外国人観光客への対応が不十分</li><li>● 道路施設や飲食店や魅力ある土産品が少ない</li><li>● 地域ブランドのブランド力が不十分</li><li>● 市全体の商業力の衰退</li><li>● 教育環境における規模やクラブ活動環境が不十分</li><li>● 市民ニーズに応じた医療機関の充実が不十分</li><li>● 介護医療などの専門人材の不足</li><li>● 若者や女性が求める仕事や市内就労が少ない</li><li>● 都市圏等、効果的な情報発信ができないない</li><li>● 都市拠点・地域拠点の空洞化</li><li>● 公共交通、2次交通が不十分</li><li>● 行政拠点や文化拠点の老朽化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本最大級のカルスト台地「秋吉台」</li><li>● 日本屈指の大鐘乳洞「秋芳洞」</li><li>● 「Mine秋吉台ジオパーク」</li><li>● 別府弁天池等の清らかな湧水</li><li>● 厚保いし、利芳梨、美東ごぼう等、独自の特産物</li><li>● 山々や田園風景などの自然環境</li><li>● 日本有数の化石のまち</li><li>● 県西部の中心位置（長門・萩方面と各地の中継点）</li><li>● 2か所の駅（県内環境）</li><li>● 2つのJCT等交通利便性の高さ</li><li>● 新山口駅、山口宇部空港とのアクセスの良さ</li><li>● 十市町村総合開発用地による産業拡大の可能性</li><li>● 社会復帰促進センターと市内企業との連携</li><li>● 个性豊かなジオ学習やコミュニティスクール活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国、県への観光客数、外国人観光客数の増加</li><li>● 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催</li><li>● IoTへの対応・進化</li><li>● 国の東京一極集中への是正対策</li><li>● 全国的な働き方改革の推進</li><li>● 若者世代の田園回帰</li><li>● 女性の社会進出</li><li>● 世界ジオパークへの挑戦</li><li>● 道の駅・美東SAの整備、改修</li><li>● 地域ブランドの振興</li><li>● 行政拠点や文化拠点の改築、整備</li><li>● 小郡萩道路の開通に伴う利便性の向上</li><li>● 定住施策効果の好調</li><li>● 地域おこし協力隊の各地の活躍</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 山口県全体の人口減少</li><li>● 東京一極集中化</li><li>● 小郡萩道路の開通に伴う通過点の可能性</li><li>● 市内で結婚する若者の減少</li><li>● 中小事業者の後継者不足</li><li>● 農林業の担い手の不足</li><li>● 遊休農地の増加</li><li>● 空き家、危険家屋の増加</li><li>● 境界集落の発生</li><li>● 大規模災害の発生</li><li>● 消費者、高齢者への安全対策の必要性の増加</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 防ぐ！</li><li>■ 地域共生社会</li><li>■ 担い手・人材育成</li><li>■ 住み続けられるまち</li><li>■ ネットワーク</li><li>■ 安全・安心</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 克服！</li><li>■ 持続可能性</li><li>■ 若者・女性の活躍</li><li>■ 結婚に必要な環境</li><li>■ 秋吉台の活用</li><li>■ 魅力的産業の創出</li><li>■ 情報発信</li><li>■ 都市拠点・地域拠点</li><li>■ にぎわいのあるまちづくり</li><li>■ 教育環境の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>⇒ さらによく！</li><li>■ 秋吉台、秋芳洞</li><li>■ 資源の活用</li><li>■ 活力ある産業、魅力的産業</li><li>■ しごとの創出、力をつける</li><li>■ ジオパーク</li><li>■ 魅力の発信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市内公共交通の利便性が悪い</li><li>● 日常の買い物が不便</li><li>● 観光振興の市民満足度が低い</li><li>● 商工業の市民満足度が低い</li><li>● 農村業の市民満足度が低い</li><li>● その他産業関連の市民満足度が低い</li></ul>
			<ul style="list-style-type: none"><li>● 保健・医療サービスの市民満足度が低い</li><li>● 各種行政運営に関する市民満足度が低い</li><li>● シオバーク活動や国際交流等の市民理解が低い</li><li>● 一部地域や若者が住みよいまちだと感じていない</li><li>● 若い世代での定住意向が低い</li></ul>

## 第3回 美祢市立図書館あい方検討委員会

### ワークショップ

日時：令和3年2月9日(火)9:30～

場所：美祢市役所 3階 委員会室

- フログラム -

(5分)

#### STEP1：第2回あい方検討委員会（WS）を振り返ります

・第2回 WSで議論した内容を振り返ります

第2回 WSのべたうち記録（資料1）

(10分)

#### STEP2：第2回あい方検討委員会（WS）で出された意見を整理したものを見 説明します

- ・第2回あい方検討委員会で検討した①基本的なあり方（理念）に関わること、  
②役割や機能に開すること、について出された意見を整理し、美祢市立図書館  
整備の筋道（シナリオ案）として整理しました
- ・その内容について説明します（資料2）

(40分)

#### STEP3：③場所や空間に関わること、について議論を掘り下げましましよう

○建設場所としてふさわしいのはどこですか？

美祢市の中心市街地のまちづくり計画の動きなどとの関連で、どの場所がふさ  
わしいか？美祢駅、市役所、その他の公共施設、商業施設、周辺の自然環境、  
などの関連の中で、図書館にふさわしい場所について議論しましょう

（参考：中心部現況図のなかに建設の可能性がある土地を示しています）

○図書館と複合したら良いと思われる機能や、こんな場所があつたら良いなと思  
う空間について、議論しましょう

(10分)

#### STEP4： STEP3での議論の内容を全体に発表しましよう

- ・各グループでの議論の内容を全体に発表してください
- ・各グループの発表をもとに、全体で議論します

## 資料 1

美祢市立図書館基本構想策定業務 令和2年度第2回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2020年12月3日(木) 9:30~11:30
場 所	美祢図書館2階規聴覚室
参加者 (敬称略)	グループA 委員：波佐間正頃（吉則保育園園長） 金石 芳明（県立美祢青嶺高等学校校長） 山根 文江（読み聞かせの会代表） 野原 妙子（利用者美祢地区代表） 金子 明美（教育委員会委員） 行政： 計画：椿 拓也（龍環境計画）



- 自己実現
  - ・自己実現
  - ・夢への扉
  - ・ジオラマへ素敵な遺産
  - ・自分たちでつくる（予算の一部を集める）
  - ・本も自分たちで集める
  - ・観光案内のスキル育成
  - ・未来が見つかれる
  - ・ICT環境
  - ・学習コーナー
  - ・本の魅力を伝える！！
  - ・美祢市への郷土愛の育成
  - ・郷土資料をアピール
  - ・郷土コーナー、資料館
  - ・文化、スポーツ、美術
  - ・若い人を育てる、つなぐ！！
  - ・課題の解決
- きっかけ
  - ・本だけじゃない図書館
  - ・子どもが本と親しむ
  - ・地域の人がつながる
  - ・学びひとそびと、つながりがある
  - ・出会いつながり（人、歴史、可能性、学び、過去と未来、ファンタジー、空間など）
  - ・対話
  - ・イベント会場
  - ・イベント
  - ・情報発信の中心
  - ・現在、過去、未来がつながる
  - ・コラボレーション

○自己逃避

- ・子どもたちのシェルター
  - ・学校に行けない子どもたちの受け皿
  - ・自力でくる！
  - ・公共交通で来れる！
  - ・支援に来れない人たちを救いたい
  - ・何もなくとも来ることができる
  - ・(地元作家) のギャラリー
  - ・カフェ
  - ・自分を見つける（誰にとつても）
  - ・やすらぎ
  - ・やすらぎ、活力、希望のもと（広場）
  - ・遊び場（芝生、広場、ベンチ）

美術市立図書館基本構想策定業務

令和2年7月3回美術志立図書館

- 学校に行けない子どもたちの受け皿
- 自力でくる！

公井在通不盡也子

・支援に来れない人たちを救いたい

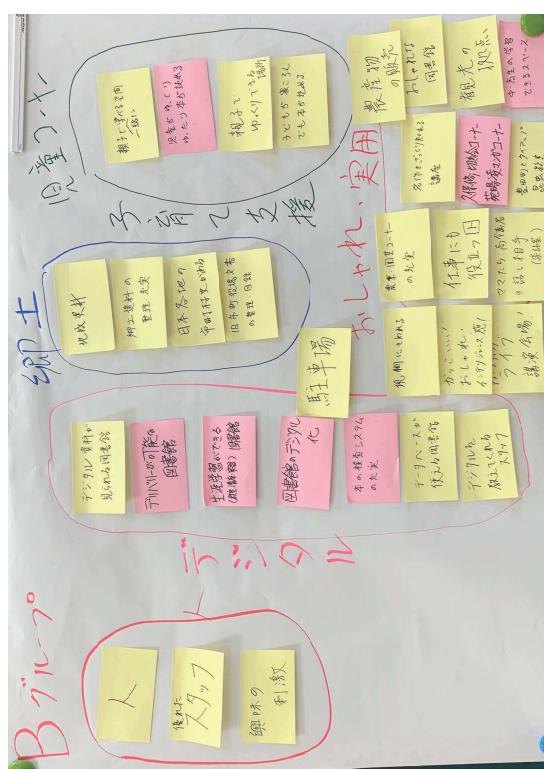
- ・何もなくても来るこどもができる  
・(地元作家) のギャラリー

カフエ

- ・自分を見つける（誰にとつても）

- ・ やすらぎ、活力、希望のもと (広場)
- ・ 遊び場 (芝生、広場、ベンチ)

美祢市立図書館基本構想策定業務	
令和2年度第2回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2020年12月3日(木) 9:30~11:30
場 所	美祢図書館2階視聴覚室
グループ	委員：利重 佳子（真長田保育園園長） 田村恵美子（山口県立図書館） 木村 幸子（利用者差別化地区代表） 中原 和昭（社会教育委員）
参考者 (敬称略)	行政： 計画：岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド）





## ○化石・石関係

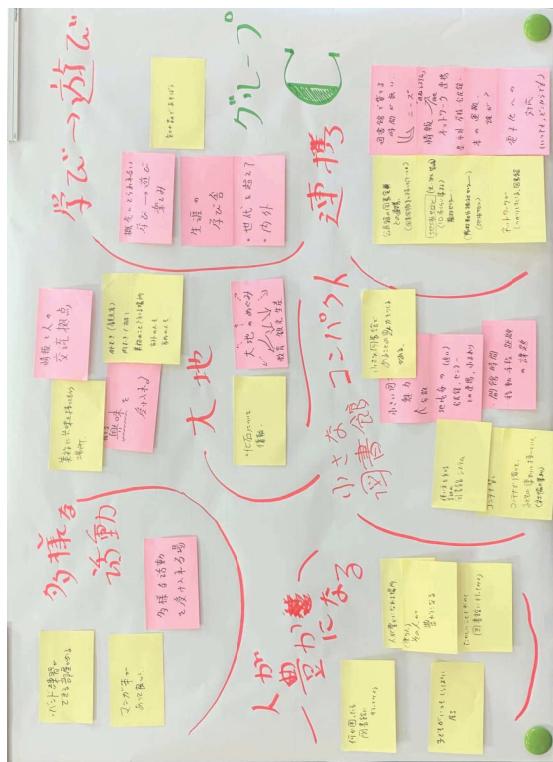
- ・郷土の誇り “石”
- ・化石、石ライブラリー
- ・“パワーの宝庫”石にまつわるパワースポット巡り
- ・科学ラボがある
- ・パワーストーン（売れる）
- ・体験型図書館
- ・バーチャル体験
- ・化石発掘・絵の世界を体験
- ・化石にさわれる図書館
- ・化石の奇跡を体感
- ・洞窟体験

## ○くつろぎ

- ・まったく、ゆったりくつろぎ空間
- ・川べりでくつろぐ図書館
- ・図書館からバックトゥザファーチャー
- ・花（桜）と化石の図書館
- ・遊び心のある図書館
- ・ミュニティ図書館（交流ができる）
- ・マイノリティーに寄り添う場所
- ・仲間が待つ場所
- ・図書館は公共の道具
- ・生涯学習ができる図書館
- ・ドラえもんのポケット図書館

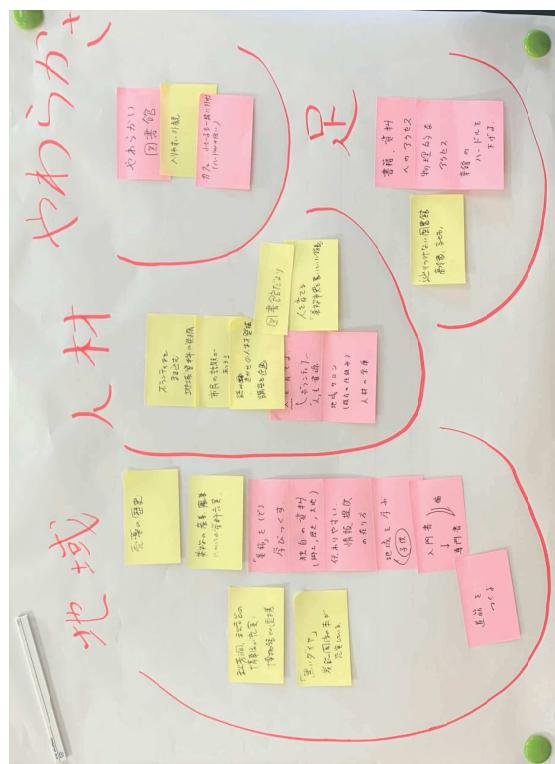
## 美祢市立図書館基本構想策定業務

会期	令和2年度第2回美祢市立図書館基本構想策定業務
日時	2020年12月3日(木) 9:30~11:30
場所	美祢図書館2階視聴覚室
参加者	委員：作本 照子（認定こども園代表、伊佐中央幼稚園園長） 柴崎 良子（大瀬中学校地域コーディネーター） 豊田 康恵（利用者秋芳地区代表）
(敬称略)	行政：牛島 朗（山口大学太学院准教授／委員会会長） 計画：篠田 圭子（美祢市立図書館司書） 計画：内田 文雄（龍環境計画）



## ○複合

- ・博物館、化石資料館との複合図書館
- ・融合（オンライン・オフライン、図×いろいろ）
- ・秋吉台エコ・ミュージアム、秋吉台科学博物館との連携
- ・図書館から発信、美祢市へGO（農業、山登り、秋吉台写真撮影会）



### ○多様な活動

- ・バンド練習ができる部屋がある
- ・マンガ本があつて良い
- ・多様な活動を受け入れる場

### ○人が豊かになる

- ・何か困ったら図書館に行ってみよう
- ・子どもがいつもいっぱい居る
- ・人が豊かになる場所
- ・楽しいことを求めて図書館に行つてみよう

### ○大地

- ・化石についての情報
- ・大地のめぐみ→教育、観光、生産

### ○小さな図書館、コンパクト

- ・美術の図書館システムの使い方を知る
- ・コントナ貸し
- ・コントナで借りて、子どもの集まり（社協の集まり）に持つていく
- ・小さな図書館であることの魅力をつくる
- ・地域ごとの（近い）公民館、センターとの連携、小まわり、分散
- ・開館時間、移動手段・距離の課題

### ○学び→遊び

- ・概念にとらわれない、学び→遊び、楽しみ
- ・生涯の学び舎
- ・世代を超えて
- ・内外
- ・知の森であそぼう

### ○連携

- ・公民館の図書室との連携（図書館職員が持つていける）
- ・地域サロン（10名くらい集まる）
- ・農林センター
- ・農村労福祉センター
- ・ネットワークがしっかりとしている図書館
- ・図書館で借りる時間がないというニーズに対する「みねシステム」
- ・情報、ネットワーク、連携の強化「みねシステム」
- ・本の運搬は誰が？
- ・電子化への対応（いつでも、どこからでも）

### ○地域

- ・秋芳洞、秋吉台の情報が充実
- ・博物館との連携
- ・「黒いダイヤ」、炭鉱関係の本が充実している
- ・壳漁の歴史
- ・美術の産業、農業についての資料の充実

- ・「美術」を（で）学びつくす
- ・独自の資料（郷土、歴史、大地）
- ・伝わりやすい情報提供の在り方
- ・子どもが地域を学ぶ
- ・入門書から専門書までの幅
- ・道筋をつくる

#### ○人材

- ・ボランティアを巻きき込む
- ・地域資料の発掘
- ・市民の話題が集まる
- ・読みきかせの人材発掘
- ・講座企画
- ・人（ボランティア）を育てる
- ・「人」も資源
- ・地域サロン（既存の仕組み）
- ・人財の宝庫
- ・図書館だより
- ・人を育てる、「美術市史を書いていた館長」

#### ○やわらかさ

- ・やわらかい図書館
- ・入りやすい外観
- ・カフェ、小さい子も一緒に行ける（ハードルの低い）

#### ○足

- ・迷りつけない図書館（高齢者、子ども）
- ・書籍、資料へのアクセス
- ・物理的なアクセス
- ・来館のハードルを下げる

## 1. 基本的な考え方（理念）に関する意見

### ①美術のことを知る場所

- ◎美術のことを見る場所、市外の人も、市内の人も（グループC）
  - ・外向き（観光客）、内向き（市民）（グループC）
  - ・子どもが地域を学ぶ（グループC）
  - ◎美術に興味を持つてもらう場所（グループC）
  - ◎「美術」を（で）教育、観光、生産（グループC）
  - ◎大地のめぐみ、秋吉台の情報が充実（グループC）
  - ◎美術の産業、農業についての資料の充実（グループC）
  - ◎「黒いダイヤ」、炭鉱関係の本が充実している（グループC）
  - ◎花（桜）と化石の図書館（グループB）
  - ◎郷土の誂り“石”（グループB）
  - ◎化石についての情報（グループC）
  - ◎化石、石ライブラリー（グループB）
  - ◎壳類の歴史（グループC）
  - ・独自の資料（郷土、歴史、大地）（グループA）
  - ・郷土資料をアピール（グループA）
  - ・郷土資料の整理・充実（グループB）
  - ・郷土コーナー、資料館（グループA）
  - ・地域資料（グループB）
  - ・地域資料の発掘（グループC）
  - ・入門書から専門書までの幅（グループC）
  - ・日本各地の市町村史がある（グループB）
  - ・旧市町役場文書の整理、目録（グループB）
  - ・伝わりやすい情報提供の在り方（グループC）

### ②困つたら図書館へ

- ・何か困つたら図書館に行ってみよう（グループC）
  - ・楽しいことを求めて図書館に行ってみよう（グループC）
  - ・何もなくとも来ることができる（グループA）
  - ・自分を見つける（誰にとっても）（グループA）
  - ・やすらぎ（グループA）
  - ・やすらぎ、活力、希望のもと（広場）（グループA）
  - ・まつり、ゆったりくつろぎ空間（グループB）
  - ・川べりでくつろぐ図書館（グループB）
  - ・遊び場（芝生、広場、ベンチ）（グループA）
  - ・マイノリティーに寄り添う場所（グループB）
  - ・仲間が待つ場所（グループB）
  - ・自力でくる！！（グループA）
  - ・公共交通で来れる！！（グループA）
  - ・支援に来れない人たちを救いたい（グループA）

### ③学びとあそびとつながり

- ◎は、美術独自の図書館づくりに繋がる項目
- ・概念にどうわらない、学び→遊び、楽しみ（グループC）
- ・学びとあそびと、つながりがある（グループA）
- ・生涯の学び舎（グループC）
- ・知の森であそぼう（グループC）
- ・世代を超えて（グループC）
- ・地域の人がつながる（グループA）
- ・出会いつながり（人、歴史、可能性、学び、過去と未来、ファンタジー、空間など）（グループA）
- ・現在、未来がつながる（グループA）
- ・図書館からバックトゥザフューチャー（グループB）
- ・コラボレーション（グループA）
- ・遊び心のある図書館（グループB）
- ・コミュニケーション（図書館でできる）（グループB）
- ・図書館は公共の道具（グループB）
- ・ドラえもんのポケット図書館（グループB）
- ・学習コーナー（グループA）
- ・中・高生の学習できるスペース（グループB）

### ④子ども達のシエルター

- ・子どもたちのシエルター（グループA）
- ・学校に行けない子どもたちの受け皿（グループA）
- ・子どもが本と親しむ（グループA）
- ・児童がゆっくり、ゆったり本が読める（グループB）
- ・子どもが寝転んで本が読める（グループB）
- ・子どもがいつもいつぱい居る（グループB）
- ・親子と一緒に学べる空間（グループB）
- ・親子でゆっくりできる場所（グループB）

## 2. 機能・役割に関する意見

### ①入りやすい図書館

- ・入りやすい外観（グループC）
- ・来館のハードルを下げる（グループC）
- ・かつこいい おしゃれ！インテリジェンス感！（グループB）
- ・おしゃれな図書館（グループB）
- ・やわらかい図書館（グループC）
- ・カフェ（グループA）
- ・カフェ、小さい子も一緒に行ける（ハードルの低い）（グループC）

### ②多様な活動を受け入れる（展開する）場

- ・多様な活動を受け入れる場（グループC）
- ◎ “パワーの宝庫” 石にまつわるパワースポット巡り（グループB）
- ◎ パワーストーン（売れる）（グループB）
- ◎ 大地の奇跡を体感（グループB）
- ・体験型図書館（グループB）
- ◎ 化石発掘・絵の世界を体験（グループB）
- ◎ 化石にさわれる（グループB）
- ◎ 現物にさわれる（グループB）
- ◎ 洞窟体験（グループB）
- ・バーチャル体験（グループB）
- ・本だけじゃない図書館（グループA）
- ・科学ラボがある（グループB）
- ・文化、スポーツ、美術（グループA）
- ・地元作家のギャラリー（グループA）
- ◎ 久保修切り絵コーナー（グループB）
- ◎ 施湯煮マンガコーナー（グループB）
- ・マンガ本があつても良い（グループC）
- ・生涯学習ができる（教室、講座、実習）図書館（グループB）
- ・生涯学習ができる図書館（グループB）
- ・講座を企画（グループC）
- ・名作をざっくりと見れる講座（グループB）
- ・豊田町ヒタツブ、昆虫教室（グループB）
- ・農産物の販売（グループB）
- ・農業、園芸コーナーの充実（グループB）
- ・イベント会場（グループA）
- ・アコースティックライブ講演会場！（グループB）
- ・バンド練習ができる部屋がある（グループC）
- ・仕事にも役立つ図書館（グループB）
- ・対話（グループA）
- ・ママたち、高齢者の話し相手（談話室）（グループB）

### ③情報発信拠点

- ◎は、美祢独自の図書館づくりに繋がる項目
- ◎ 図書館から発信、美祢市へ GO 農業、山登り、秋吉台写真撮影会（グループB）
  - ・情報発信の中心（グループA）
  - ・本の魅力を伝える！！（グループA）
  - ・観光の拠点（グループB）
  - ・図書館により（グループC）

### ④ICT環境の整備

- ・ICT環境（グループA）
- ・図書館のデジタル化（リモートで借りることができる）（グループB）
- ・本の検索システムの充実（グループB）
- ・データベースが使える図書館（グループB）
- ・デジタル資料が見られる図書館（グループB）
- ・書籍、資料へのアクセス（グループC）
- ・電子化への対応（いつでも、どこからでも）（グループC）
- ・リバリーが可能な図書館（グループB）
- ・本の運搬は誰が？（グループB）
- ・オンラインも大充実！！（グループC）
- ・From Home（グループB）
- ・家からでもつながる図書館（グループB）
- ・行かずに借りられる図書館（グループB）
- ・ITCが学べる場所（グループB）

### 3. 運営などにおける特徴づくりに関する意見

◎は、美祢独自の図書館づくりに繋がる項目

#### ①小さな図書館であることの魅力をつくる

- ・地域ごとの（近い）公民館、センターとの連携、小まわり、分散（グレーブC）
- ・市民の話題が集まる（グレーブC）
- ・様々な興味を受け入れる（グレーブC）
- ・コントナ販し（グレーブC）
- ・開館時間、移動手段・距離の課題（グレーブC）
- ・迎つけない図書館（高齢者、子ども）（グレーブC）
- ・物理的なアクセス（グレーブC）

### 4. 図書館を通じて最終的に目指すものに関する意見

◎は、美祢独自の図書館づくりに繋がる項目

#### ①人づくり・人を育てる

- ◎美祢市への郷土愛の育成（グレーブA）
- ・人財の宝庫（グレーブC）
- ・「人」も資源（グレーブC）

#### ②人が豊かになる

- ・人が豊かになる場所（グレーブC）
- ・（使う人）その人が豊かになる（グレーブC）
- ◎ジオラマへ素敵な遺産（グレーブA）
- ・自己実現（グレーブA）
- ・夢への扉（グレーブA）
- ・未来が見つかる（グレーブA）

#### ②図書館から公民館まで、細かくつながる運営の「みねシステム」

- ◎情報、ネットワーク、連携の強化「みねシステム」（グレーブC）
- ◎図書館で借りる時間がないというニーズに対する「みねシステム」（グレーブC）
- ◎美祢の図書館システムの使い方を知る（グレーブC）
- ・公民館の図書室との連携（図書館職員が持つていける）（グレーブC）
- ・ネットワークがしっかりとしている図書館（グレーブC）
- ・融合（オンライン・オフライン、図×いろいろ）（グレーブB）
- ◎秋吉台エコ、ミュージアム、秋吉台科学博物館との連携（グレーブB）
- ◎博物館、化石資料館との複合図書館（グレーブB）
- ◎博物館との連携（グレーブC）
- ◎農林センター（グレーブC）
- ◎農村勤労福祉センター（グレーブC）
- ・情報と人の交流拠点（グレーブC）
- ・地域サロン（10名くらい集まる）（グレーブC）
- ・地域サロン（既存の仕組み）（グレーブC）

#### ③自分たちでつくる、みんなでつくる

- ・自分たちでつくる（予算の一部を集め）（グレーブA）
- ・本も自分たちで集める（グレーブA）
- ・壊れたスタッフ（グレーブB）
- ・若い人を育てる、つなぐ！！（グレーブA）
- ・人を育てる、「美祢市史を書いていた館長」（グレーブC）
- ・人（ボランティア）を育てる（グレーブC）
- ・ボランティアを巻き込む（グレーブC）
- ・デジタルを教えてくれるスタッフ（グレーブB）
- ・観光案内のスキル育成（グレーブA）
- ・読みきかせの人材発掘（グレーブC）

## 第4回 美祢市立図書館あい方検討委員会

### ワークショップ

日時：令和3年8月6日(金)14:00～15:30

場所：市民会館 大会議室

#### - テーマ -

- ・基本構想の全体構成（案）と、途中経過の確認をします。
- ・新しい美祢市立図書館の構成や運営体制の基本的な考え方について検討します。

#### - プログラム -

##### STEP1：これまでのあり方検討委員会（WS）を振り返ります

- ・これまでの WS で議論した内容を振り返ります。

（スライドにて説明します）

##### STEP2：これまでのあり方検討委員会（WS）で出された意見を基に作成した

###### 基本構想の全体構成（案）と、途中経過を説明します

###### 基本構想の全体構成（案）を説明します。（資料1）

###### 新しい美祢市立図書館が目指す姿、基本理念、担う役割について説明します。（資料2）

###### 新しい美祢市立図書館づくりのための取組と、新しい美祢市立図書館の構成図について説明します。（資料3）

##### STEP3：STEP2で説明した内容について、各グループで自由に意見を

###### 出し合いましょう

###### 基本構想の全体構成について議論します。

###### 新しい美祢市立図書館の基礎理念、担う役割、取組、構成図について議論します。

##### STEP4：各グループで出された意見について全体に発表します

###### 各グループで出された意見を全体に紹介してください。

###### 各グループの発表をもとに、全体で議論します。

## STEP5：新しい美祢市立図書館の構成や運営体制の基本的な考え方について検討します

- ・現在、合併以前、それぞれの自治体で運営していた3つの図書館が利用されています。

今後、新しい美祢市立図書館において3つの図書館の構成（関係）をどうするかが重要です。その基本的な考え方について話しません。（資料4）

- ・新しい美祢市立図書館を中央図書館と、2つのサテライト図書館という構成にした場合の、施設規模や運営体制についての考え方を例示します。

###### （資料5）（資料6）

- ・その考え方を参考にしながら、新しい美祢市立図書館の構成、運営体制などについてグループで話し合いましょう。

## STEP6：STEP5での議論の内容を全体に発表します

- ・各グループでの議論の内容を全体に発表してください。

- ・各グループの発表をもとに、全体で議論します。

## STEP7：今後の検討課題、検討の流れやスケジュールについて説明します

- ・今後の検討課題、検討の流れやスケジュールについて説明します。

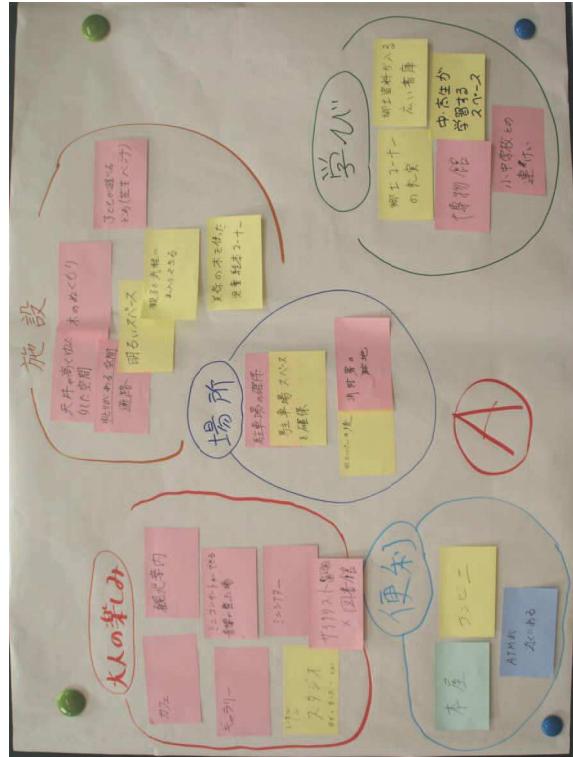
（スライドにて説明します）

## STEP8：今日のまとめ

- ・今日のワークショップや今後の進め方など、感想カードを書いてください。

美祢市立図書館基本構想策定業務 令和2年度第3回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録（株）龍環境計画	
日 時	2021年2月9日（火）9：30～11：30
場 所	美祢市役所3階委員会室
グルーブ A	委員：吉田真由美（秋吉小学校校長） 柴崎 良子（大瀬中学校地域コーディネーター） 木村 幸子（利用者美東地区代表） 金子 明美（教育委員会委員）
参加者（敬称略）	行政： 計画：

### ■STEP3 の場所や空間に関するこことについての議論の結果



### ◎場所

- ・旧ステーションの後ろ
- ・消防署の跡地
- ・駐車場の確保
- ・駐車場スペースの確保

### ○学び

- ・郷土コーナーの充実
- ・郷土資料が入る広い書庫
- ・中高生が学習するスペース
- ・博物館

### ○便利

- ・本屋
- ・コンビニ
- ・ATMが近くにある

### ○場所

- ・レンタルスタジオ
- ・ミニコンサートができる音響が整った場

### ○大人の楽しみ

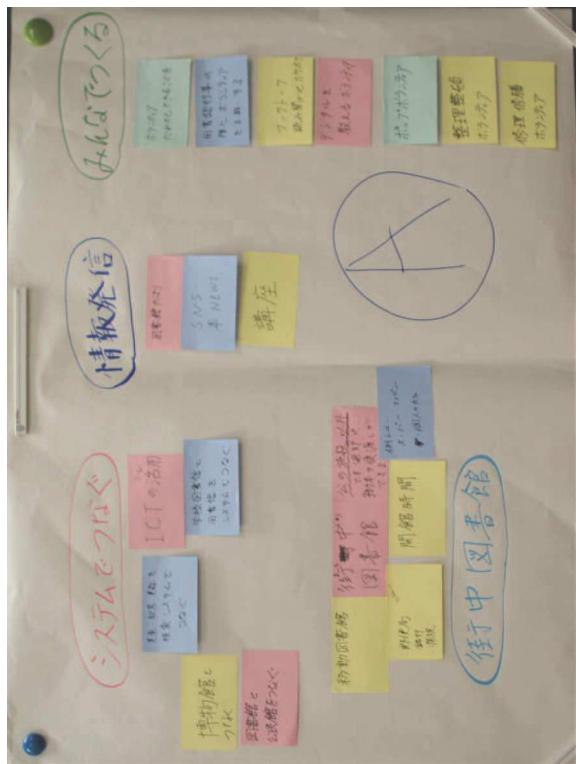
- ・カフェ
- ・ギャラリー
- ・レンタルスタジオ、ミニスタジオ（ヨガ、ダンスなど）
- ・観光案内
- ・ミニコンサートができる音響が整った場
- ・ミニシアター
- ・サイクリスト×図書館

- 施設
  - ・天井が高く、ゆったりした空間
  - ・ゆとりがある空間、通路
  - ・明るいスペース
  - ・木のぬくもり
  - ・親子で気軽に出入りできる
  - ・美術の木を使った原童絵本コーナー
  - ・子どもが遊べるところ（芝生、ベンチ）

## ■ STEP5 のつながり・ネットワーク、運営に関わることについての議論の結果

### ○情報発信

- ・図書館だより
- ・SNS
- ・本ニュース
- ・講座



### ○システムでつなぐ

- ・博物館とつなぐ
- ・図書館と公民館をつなぐ
- ・美東、秋芳、美術を検索システムでつなぐ
- ・ICTのフル活用
- ・学校図書館と図書館をシステムでつなぐ

### ○街中図書館

- ・街中（まちじゅう）図書館
- ・郵便局、銀行、病院
- ・公の施設以外でも返却や予約本の受け渡しができる
- ・例えば、スーパー、コンビニ、個人のカフェ
- ・開館時間
- ・移動図書館